

Grand Toit News

「Grantow News」vol.85
令和8年2月発行
発行：島根県芸術文化センター



Grantow News

vol. 85
Spring 2026

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介 「自己と孤独との闘い—画家・小堀四郎が築いた芸術世界」

劇場事業紹介 「ストラディヴァリウス
スーパー・プレミアム・コンサート 2026」

- わたしのおすすめ
- PICK UP EVENT ほか

ゴールデンウィークも
全日開館！

自己と孤独との闘い

—画家・小堀四郎が築いた芸術世界—
企画展「森鷗外ゆかりの洋画家 小堀四郎」について、
展覧会担当の左近充直美専門学芸員に
みどころをうかがいました。



小堀四郎 1941年 油彩カンヴァス 世田谷美術館蔵



小堀四郎 1942年 油彩カンヴァス 世田谷美術館蔵

名声よりも芸術という実をとる、
ということですね。簡単ではあり
ません。

そうですね。東京美術学校の
同期生には、小磯良平、猪熊弦
一郎、萩須高德など、才能豊か
な面々が揃っており、上社会展
を通じて互いに切磋琢磨し、腕
を磨いていきました。彼らは後
に個人名を冠した美術館も建
ち、世に知られていますが、四
郎は、ほぼ無名のまま生涯を終
えています。しかし彼が目指し
た芸術世界は、何物にも囚われ
ず、自然や自己の内に「本質」
を求めるものでした。東洋的な
幽玄味のある美しさと、昏さの
なかに宿る神妙さは唯一無二
で、小堀四郎にしか描けない世
界です。

四郎さんの油彩画を見ていると、
その世界に惹き込まれてしま
います。

今回は四郎の油彩画約120
点のほか、夫を支えつつ、芸術
を培う同志として文筆業で活躍
した妻・杏奴の滞欧期の油彩画
や資料、四郎の人生に大きな影
響を与えた二人の師、長原孝太
郎と藤島武二の作品や資料な
ど、約240点を展示します。是
非この機会に美術館に足を運ん
で下さい。

タイトルにある「森鷗外ゆかり」
の意味と、小堀四郎さんについ
て教えてください。

小堀四郎 (1902-98) は、明
治から平成まで、激動の時代を
芸術一筋に生きた、実力派の洋



小堀四郎の妻の像 1949年 油彩板 豊田市美術館蔵

画家です。しかし知っている人
は少ないかもしれません。名前
が知られていないのには、わけ
があるのです。そのことについ
ては後で詳しくふれましょう。

「森鷗外ゆかり」の所以です
が、小堀四郎の妻が、森鷗外
の次女・杏奴なのです。杏奴が
まだ13歳のときに鷗外が亡くな
っているため、鷗外と四郎は直接
面識があったわけではありません。
小堀杏奴は、亡き父の文才
を受け継ぎ『晩年の父』(1936年・
岩波書店)や『朽葉色のショール』
(1977年・春秋社)など、数多
くの書物を著し、随筆家として
活躍しました。

小堀四郎さんは、どんな人生を
送った画家なんでしょうか。

今の愛知県名古屋市で、尾張
徳川家に代々仕えた旧家に生ま
れています。学び舎の東京美術
学校(現・東京藝術大学)では
特待生に選ばれ、1927年には帝
展(帝国美術展覧会)に初入選。
5年のフランス留学を経て、帰
国後に滞欧作183点を発表。当
時の帝国美術院長が4点作品を
買い上げるといふ、いわば王道
の出世ルートから画業をスター
トした人です。

しかし、1935年、時の松田源
治文部大臣が帝国美術院の改革
を行い(「帝展改組」、美術界に

大混乱が起きます。これに失望
した四郎が、美術学校時代から
の恩師・藤島武二に相談すると
「画壇の悪風に染まるな。芸術は
人なり。まず人間を作れ」と進言
されます。師のこの言葉が機縁
となって四郎は官展を去り、以
後画壇との関わりを絶ちます。
唯一、年に一度、東京美術学
校の同期生らと結成した「上社
会」展には、出品を続けましたが、
既存団体に属さず、絵も売らず、
80歳で半世紀ぶりの個展をする
まで世に知られることなく、自
らの芸術に一途に向き合いました。
小堀四郎が「孤高の画家」と言わ
れる由縁です。

森鷗外ゆかりの洋画家

二人で歩いた道

企画展

2026 4/25 SAT » 6/15 MON
島根県立石見美術館

【開館時間】9:30~18:00 (展示室への入場は17:30まで)
【休館日】毎週火曜日(5月5日、5月6日は開館)、5月7日
【観覧料】当日券:一般1,300(1,040)円、大学生800(640)円、
小中高生400(320)円

前売券:企画・コレクション展セット1,200円
※()内は20名以上の団体料金。
※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料
※前売券はオンラインチケット「シマチケ」(WEBサイト)でお求めになれます

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、日本海テレビ
【特別協力】世田谷美術館、世田谷文学館、豊田市美術館
【後援】芸術文化とふれあひ協議会

オンラインチケット「シマチケ」▶



小堀四郎
(二人で歩いた道)
1941年 油彩・カンヴァス
豊田市美術館蔵

小堀四郎

関連プログラム

- ◎参加には企画展観覧券または
ミュージアムパスポートが必要です
- ◎申込み方法や、関連事業の詳細については
当館ホームページ等でお知らせします



■開幕記念対談

小堀四郎 × 伊藤比呂美
(小堀四郎長男・医学博士) (詩人)

本展の開幕を記念して開催するスペシャルな対談

4月25日(土) 14:00~15:30 会場: Grantow ホール
参加無料/事前申込制/定員400名

■記念講演会

「在宅医療と私—842人の生老病死」

長年、在宅医療に携わる医師・小堀四郎氏による終末医療のお話

6月6日(土) 14:00~15:30 会場: 多目的ギャラリー

講師: 小堀四郎(小堀四郎長男・医学博士)
参加無料/事前申込制/定員70名

■美術講座

「芸術は人なり—小堀四郎の深遠なる世界」

小堀四郎の芸術を深堀したい人に、担当学芸員による美術講座

5月23日(土) 14:00~15:30 会場: Grantow 講義室

話し手: 左近充直美(当館専門学芸員)
参加無料/申込不要/定員30名

KOBORI SHIRO

ミニ観に レビュー
美術館に携わった方々の努力と功績を知ることが出来た。美術館が生まれる前、生まれて、それからの美術館を含めた益田市の未来がどうなるのか思いを馳せる時間になった。(20代・女性・益田市/美術館がうまれて、それから—コレクションと石見美術館の20年—)
・宮田さんの音の幅広さに感動。出演者の言葉で鑑賞のポイントや聞くことの面白さを広げていただけたい感じがします。最後のふるさとの合唱は楽しく、同時に内藤さんの思いに心打たれました。(40代・女性・益田市/ミュージアムvol.26「深響—音の満ちる空間」)
・アンドレの意識が正常なのか混沌としているのか、不確かな揺らぎを橋爪さんの演技と構成で見事に表現されていたことが強く印象に残りました。ラストシーンの表情が忘れられません。(40代・女性・山口市/演劇公演「飛び立つ前」)



11丁ものストラディヴァリウスがグラントワに集結

ハビスロイティンガー=フッグラ=コライ・ストラディヴァリウス財団ほかの協力により、7丁のヴァイオリン、2丁のヴィオラ、2丁のチェロ、計11丁ものストラディヴァリウスが集結します。これだけの編成によるストラディヴァリウスのアンサンブルは非常に珍しく、未だかつて味わったことのない響きを体感できる、世界でも希有なコンサートのひとつです。

ベルリン・フィルハーモニー・ストラディヴァリウス・ソロイストによる音楽美の極み

どんなに楽器が名器でも、名演奏者が集まらなければ、その真価は発揮されません。11丁の

ストラディヴァリウスを繰るのは、「ベルリン・フィルハーモニー・ストラディヴァリウス・ソロイスト」のメンバー。13人で編成される彼らは、誰もが認める世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」のメンバーで、現在、望み得る最高の演奏者たちです。

最高の楽器で古今の名曲を演奏。普段クラシックに馴染みの無い方でも楽しめる理想のプログラム

演奏曲は、弦楽協奏曲を中心に、ストラディヴァリウスの音色を最大限に引き出すプログラムです。名器・ストラディヴァリウスとベルリン・フィルの技巧が織りなす、絢爛たる音楽美の極みをお楽しみください。



© HT_PCM

11丁のストラディヴァリウスがグラントワに集結！さらに、幻の名器「ヴィオラのマラー」が登場。1丁だけでも数億円といわれるストラディヴァリウス、世界最大規模・総額200億円ともいわれる名器のアンサンブルです。

この演奏は、人間の耳が知る、最高の演奏かもしれない。

ストラディヴァイヴァリウス

スーパー・プレミアム・コンサート 2026



ストラディヴァリウス・スーパー・プレミアム・コンサート 2026

2026年5月27日(水)
開演 18:30 (開場 18:00)
グラントワ大ホール
[料金] S席 9,000円、A席 8,000円、B席 7,000円、学生は各半額
※学生は小学生以上高校生以下が対象
※当日は各500円増
[チケット発売日] 12月28日(土)
[演奏曲(予定)]
J.S. バッハ: 2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043、ベートーヴェン: ロマンズ ヘ長調 op.50、マスネ: タイスの瞑想曲、パルトーク: ルーマニア民俗舞曲 他
※曲目は一部変更となる場合がございます。ご了承ください。

報告します!

しまね伝統芸能祭 2025 クロージング公演
魂神楽モモチヨロズヨ

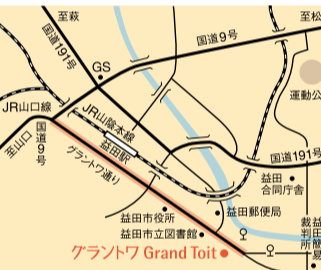
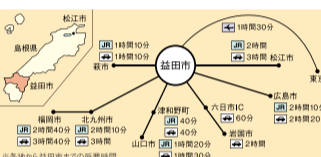


グラントワ開館20周年を記念し、島根県益田市の石見神楽若手鋭チーム「万雷」、歌手の小林幸子さんほか豪華出演陣と共に、伝統と未来をつなぐ石見神楽の新たな舞台を創作しました。特別出演した小林幸さんは4曲を披露。代表曲「おもいで酒」の美声と酒に大蛇が酔いしれる場面も。MPCプレイヤーのRYOさん (Beat Buddy Boi) と人形浄瑠璃文楽座 太夫・竹本織太夫さんは現代的なクラブミュージックのリズムと古典芸能の響き合いを披露。世界的に活躍するLEDクリエイティブ集団 MPLUSPLUS (エムプラスプラス) もLEDを使った光る大蛇や白装束など華やかな光の演出で舞台を引き立て、進化した石見神楽の狂巻のステージに1100人の観客が引き込まれました。

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit
島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860 (代表)
FAX: 0856-31-1884 (代表)
e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp
www.grandtoit.jp

Grand Toit & / リレーでコラム 16

島田仁志
(舞台技術振興課)

職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第16回は、舞台技術振興課の島田仁志さんです。

テーマパークが楽しいのは何故? キャラクターに会えるから? 色々な体験が出来るから? 理由は様々ありますがそれだけでしょか...

映画館の衰退が目立ち始めてから随分たちますが、今ではミニシアター、シネコンもあり、家ではネット映画を鑑賞することも出来ます。映画館とネット映画はどちらも同じ作品を楽しめますが、映画館で鑑賞したなら、あの場面での笑い声、悲鳴が聞こえた経験とか、誰かとの帰り道に映画の話題で盛り上がるかも...。

るかもしれません。テーマパークに一人で訪れたとしても、周りには他の来場者がいて、来場者の反応と共感して盛り上がり、楽しむ事が出来ます。

劇場も同じで、同じ場所と時間を共有する事で、舞台上と客席が一体となって楽しむことができ、舞台上のアクターだけでは成り立たない空間を、見知らぬお客様同士で繋がり、その場を創り上げている事も感じてみてください。それにしても、びしょ濡れパレードは盛り上がりやすいですね。

今回は佐々木真美さん(総務広報課総務グループ)の予定です。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

専門学芸員 川西由里

黒田清輝の名前は、歴史や美術の教科書で見た覚えのある方も多いでしょう。明治29(1896)年に新しい美術団体「白馬会」を立ち上げ、同年、東京美術学校(今の東京藝大)に開設された西洋画科の最初の教員になるなど、明治時代後半の洋画界で最も影響力のあった画家です。

日本に戻ってその栄光をつかむ前、パリでの修行時代に描かれたのがこの作品です。西洋では絵画学習の基礎である裸体デッサンも、当時の日本人には



黒田清輝
《裸体》
1889年 当館蔵

全く馴染みのないものでした。にもかかわらず、油絵を始めてまだ2年目の黒田が巧みに人体をとらえていることに驚かされます。光が満ちる明るい室内が若き画学生の自信さえ表しているような、フレッシュな一点です。

PICK UP EVENT

グラントワ寄席

2026年6月14日(日) 開演 14:00 小ホール
[全席指定・税込] 一般2,000円、高校生以下500円 ※当日は各500円増



(左) 鏡味仙志郎・仙成(太神楽曲芸)・(右) 入船亭扇遊(落語)

寄席がグラントワにやってきます! 落語はもちろん、太神楽曲芸、動物ものまね、寄席ばやしの実演と解説も。はじめての方でも気軽に楽しめる日本文化のエンターテイメント・生の演芸に触れてみませんか? 地元で寄席の雰囲気味わえる絶好の機会をお見逃しなく!

劇・場・を・探・る

【リハーサル】



リハーサルでは、舞台進行や出演者の動き・音響・照明・映像など、舞台に関わる様々なことを確認します。出演者の動きを中心としたもの、音響や照明の確認を中心としたものなど様々なリハーサルの方法があります。リハーサルを行うことで、課題や問題点を見つけ、修正を重ねていくことで本番の完成度を高めていきます。

もんじまく
今回は「文字幕」です。

■広告欄内に特に記載の無い公演は、公演当日無料託児サービスがございます。ご希望の方は、公演1週間前までにお電話にてお申込みください。TEL:0856-31-1860
■U-25及びU-30チケットは、公演日時時点で、25歳以下及び30歳以下の方が対象です。当日年齢が確認できる身分証明書をお持ちください。

弦楽器が織りなす豊かなハーモニーをお楽しみください。

グラントワ弦楽合奏団

第13回 定期演奏会

2026.3.15

開場 13:30
開演 14:00

いわみ芸術劇場小ホール

入場料 ※全席自由・税込

[一般] 前売 1,000円 当日 1,500円
[高校生以下] 無料
※未就学児入場不可

プログラム
●セントポール組曲(ホルスト)
●花のワルツ(チャイコフスキー)

チケット好評発売中

益田 島根県無形民俗文化財指定

糸操り人形

グラントワ定期公演

地域で受け継がれてきた伝統芸能、益田糸操り人形。古い形態をどめた全国的にも貴重な人形芝居の公演を、ぜひグラントワでご鑑賞ください。

チケット好評発売中

2026年3月22日(日)

いわみ芸術劇場小ホール 開場 13:00 開演 13:30

演目 絵本太夫記 十段目 尼ヶ崎の段 ほか
[人形と三味線の解説あり]

入場料 [全席自由・税込]
[一般] 前売 500円 当日 600円 高校生以下 無料
※無料託児サービスはありません。